

平成26年度 全国公立学校教頭会 ブロック大会報告

- I 大会名称** 第5回関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会・東京大会
- II 開催期間・場所** 平成26年11月13日(木)・14日(金)
- 全体会 すみだトリフォニーホール
- 分科会 すみだ産業会館・飯田橋レインボービル・日本教育会館・東京文具共和会館

III 日程・大会の概要

1 日程	13日(木) 受付	12:20~13:00
	開会行事	13:00~13:50
	アトラクション	14:00~15:20
	講演会	15:30~16:50
	14日(金) 受付	9:00~9:40
	分科会	9:40~12:00
	昼食・休憩	12:00~13:00
	分科会	13:00~15:20
	閉会行事	15:20~15:50



2 概要

(1) 研究主題「豊かな人間性と創造性を育む学校教育」

～未来に向かっていくたくましい力を育てる学校づくり～

(2) 主催 関東甲信越地区公立学校教頭会・東京都公立小学校副校長会・東京都公立中学校副校長会

(3) 後援 東京都教育委員会・墨田区教育委員会・東京都公立小学校長会・東京都中学校長会

全国公立学校教頭会・公益財団法人日本教育公務員弘済会東京支部

(4) 開会行事 ①開会のことば ②国歌斉唱 ③挨拶 ④祝辞 ⑤来賓祝辞 ⑥基調提案 ⑦閉会のことば

(5) 記念講演 演題 「北野 大の教育論」 講師 北野 大 淑徳大学人文学部表現学科教授

東京都足立区出身。足立区立第四中学校、東京都立上野高等学校を経て明治大学工学部工業化学科を卒業。その後、製薬会社に入社、殺虫剤の品質改良に従事。学者の道を目指すため、東京都立大学大学院工学研究科工業科学専攻修士課程に入学、同博士課程修了。分析化学の専門家として財団法人化学物質評価研究機構に勤務、主任研究員を務め、淑徳短期大学、淑徳大学を経て、明治大学理工学部応用化学科専任教授に就任、定年退職後淑徳大学総合福祉学部教授に就任、現在に至る。講演会では、「小中学校の先生との相性によって、子供たちの教科の好き嫌いがうまれる。先生の責任は重い。」という手厳しいお話をいただいたり、ほめて育てることの大切さや、適度な自然の厳しさが日本人の勤勉を育成してきたり、貧困を再生できるのは教育の力に他ならない話など、熱のこもった講演でした。

(6) 分科会 ①教育課程 ②子どもの発達 ③教育環境整備 ④組織・運営 ⑤教職員の専門性

⑥副校長・教頭の職務、以上6課題14分科会の教育の今日的な課題が設定されました。

IV 大会に参加しての感想等

時々見え隠れする東京スカイツリーをバックに、首都東京で、関東甲信越地区から1800余名の会員が参加し、「関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会東京大会」が盛大に開催されました。

4分科会場14分科会を巡回させていただきましたが、いずれの分科会でも活発な提言がなされ、熱心なグループ討議の様子がみられました。中でも、教育目標の具現化に向けた副校長の役割として、保護者や地域と連携しながら学校づくりを進める姿勢や、学校運営の活性化に向けてより実効性を高める学校評価の実施等、教頭の関わりが重要であるという、極めて重要な討議が展開されていました。

本大会が成功裏に終わられたのも、東京都公立学校小学校副校長会・東京都公立学校中学校副校長会による企画・運営の賜物であり、本大会役員の方々の「おもてなしの心」に心温まる思いがしました。